どうしてそう言うの？ 慣用句②

「にているところ」のことばを、語群からえらんで入れよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

「すがた」を読んで、下の「にているところ」の文の□に入ることばをえらびます。
□は(1)～(6)に一つずつ。語群のア～シから一つえらんで、□に記号を書きましょう。
語群は十二こです。同じ記号は一回ずつしかつかえず、六つはつかいません。

れい **花を添える** ＝ はなやかさをそえて、引き立てる。

にているところ **すがたの「花が一本ふえて、ぱっと明るくなる」ところが、意味の「引き立てる」ににている。** （語群からえらんだことばを、□に入れたかたち）

語群

ア	教室で、りんごとみかんがある	**キ**	かげにかくれて、のぞきこむ
イ	白と黒がまざらず、きれいに分かれる	**ク**	へこんだ所に土を足して、同じ高さにする
ウ	ほった形が、あとまで消えない	**ケ**	二つを左右にのせて、つりあいを見る
エ	むっとして、ぶつぶつもんくを言う	**コ**	ばんの上にごいしがならぶ
オ	すれすれを、そっと通りぬける	**サ**	まゆの間にしわがよって、顔つきがかわる
カ	公園で、石とのみがある	**シ**	校庭で、地めんにあながあいている

(1) 胸に刻む ＝ 忘れまいと、心に深くとどめる。

すがた 公園で、石にのみで文字をほって、のこす。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「わすれない」ににている。

(2) 天秤にかける ＝ 二つのことをならべて、どちらがよいか考える。

すがた 教室で、てんびんの両はしにりんごとみかんをのせて、重さのちがいを見る。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「どちらがよいか考える」ににている。

(3) 穴を埋める ＝ 足りない分を補って、元どおりにする。

すがた 校庭で、地めんにあいたあなに、土をどんどん入れて、たいらにならす。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「元どおりにする」ににている。

(4) 白黒をつける ＝ 物事の善悪を、はっきりさせる。

すがた ばんの上の白と黒のごいしを、色ごとに分けてならべる。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「はっきりさせる」ににている。

(5) 眉をひそめる ＝ いやな気もちや心配事で、顔をしかめる。

すがた 電車で、大きな声で話す人を見て、となりの人がまゆの間にしわをよせる。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「顔をしかめる」ににている。

(6) 目をかすめる ＝ 人が見ていないすきに、こっそり何かをする。

すがた ろうかで、先生の目のはしを、すれすれにそっと通りぬける。

にているところ すがたの □ ところが、意味の「こっそりする」ににている。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます